

# 指導・講評

文部科学省 初等中等教育局 特別支援教育課 特別支援教育調査官

加藤 典子 様

令和6年度  
全国特別支援学級・通級指導教室設置学校長協会  
第3回 全国副会長研修会

# 校内支援体制づくりと人材育成

令和7年1月24日  
文部科学省 初等中等教育局 特別支援教育課  
特別支援教育調査官 加藤 典子

# チームとしての学校

## ★専門性に基づくチーム体制の構築

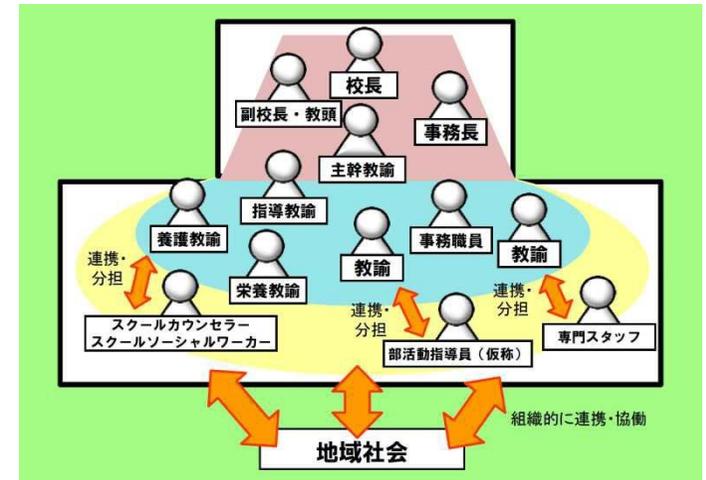
- ・教職員の指導体制の充実
- ・教員以外の専門スタッフの参画
- ・地域との連携体制の整備

## ★学校のマネジメント機能の強化

- ・校長のリーダーシップ

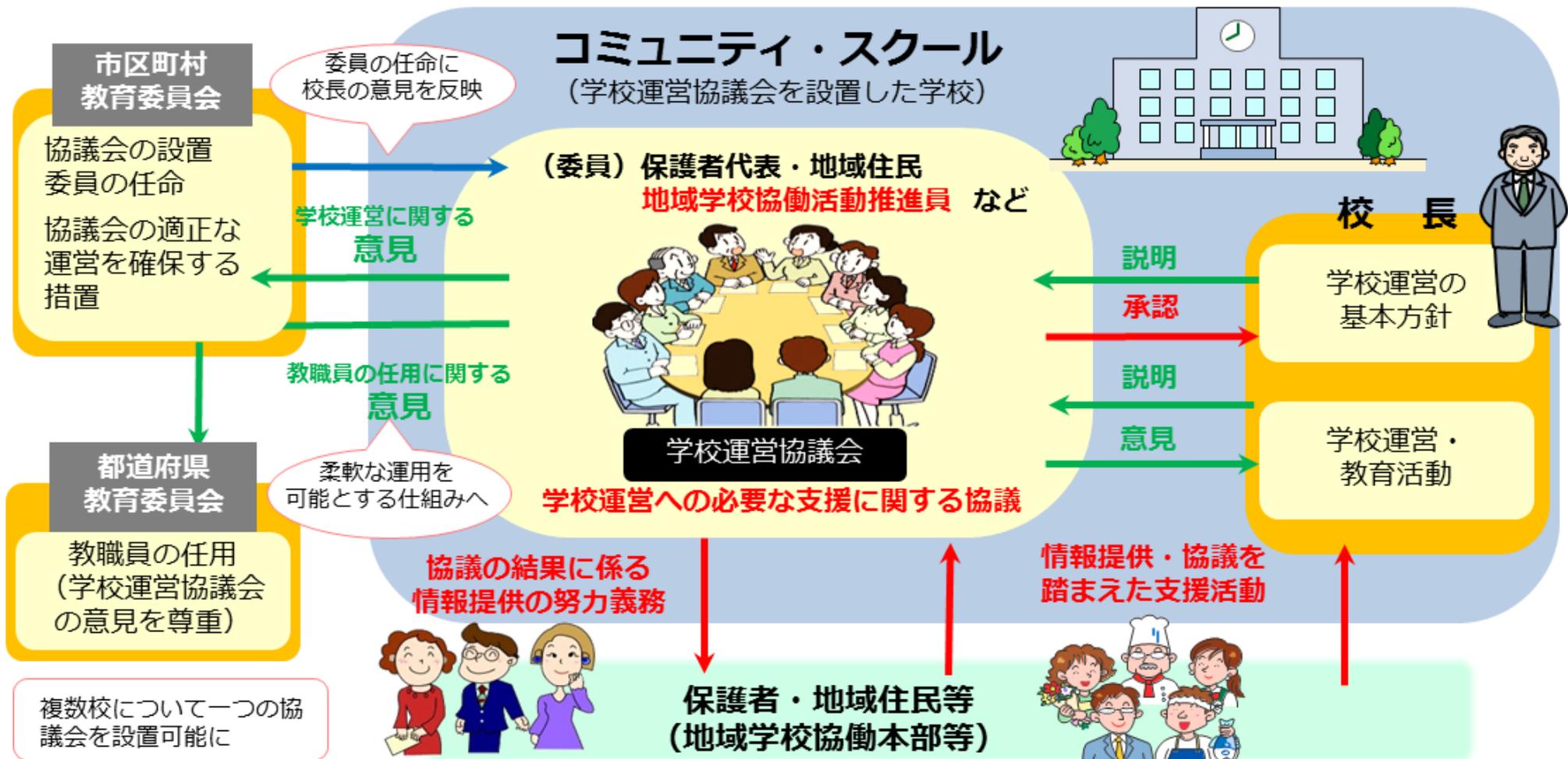
## ★教員一人一人が力を発揮できる環境の整備

- ・人材育成の推進



生徒指導や特別支援教育を充実していくためには、  
学校や教員が心理や福祉等の専門家や専門機関と  
連携・分担する体制を整備し、  
学校の機能を強化していくことが重要

# コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の仕組み



## <学校運営協議会の主な役割>

地教行法第四十七条の五

教育委員会が、学校や地域の実情に応じて学校運営協議会を設置

- 校長が作成する学校運営の基本方針を承認すること
- 学校運営について、教育委員会又は校長に意見を述べるができること
- 教職員の任用に関して、教育委員会規則で定める事項について、教育委員会に意見を述べるができること

# 特別支援教育

令和6年  
冬  
No.96

編集 文部科学省初等中等教育局特別支援教育課 / ISSN-1346-3268 MEXT 67



● 車いすラグビーが金メダルを  
獲るまでの軌跡

● 障害者と健常者が同じ立場で競技に挑む  
パラダンススポーツの世界へようこそ

● 連載企画  
連載講座：実践！ICT活用  
● 子供をささえるネットワーク  
卒業生は今 研究最新情報  
● 教育委員会の取組  
施策だより

## 学校教育目標の実現に向けた 地域と連携した教育活動

【特集】

【総説】  
● 学校教育目標の実現に向けた  
特色ある教育活動について  
● 特別支援学校における  
コミュニケーション

【事例】  
● 視覚障がいのある幼児児童生徒の自立と社会参加の実現を目指す学校づくり  
● 学校給食を活用した食に関する指導  
● 全方位アウトドア！地域の自然財を生かし切る！「もりのプロジェクト」の  
肢体不自由特別支援学校と地域や保護者とながら、備える安全教育  
● 地域の方と心を通わせながら行う、「GO!GOTSUNOシニアム」の取組  
● 子供一人一人の社会参加を目指した特別支援学級の取組  
● 地域の参画による特別支援学級の教育活動の充実  
● 「誰からも愛される生徒を育成する」地域連携



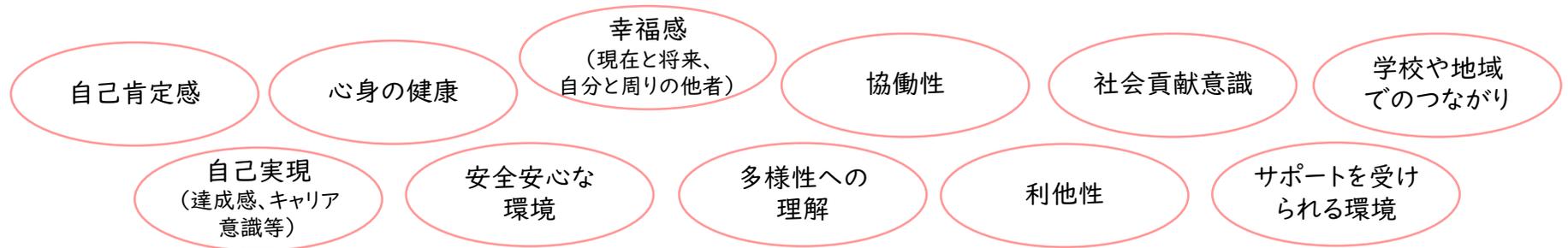
(小学校)  
和歌山市立楠見小学校  
(中学校)  
高知市立春野中学校

「私たちの学校には  
作戦マンがいるよ」  
特定非営利活動法人はびりす

# ウェルビーイングとは何か

- ウェルビーイングとは・・・身体的・精神的・社会的に良い状態にあることをいい、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含む概念。

## 教育に関連するウェルビーイングの要素



### ● 各要素を育む教育活動の例

#### 教育活動全体を通じたウェルビーイングの向上

個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実

多様な教育ニーズへの対応と社会的包摂による共生社会の実現に向けた学び・生徒指導

地域や家庭で共に学び合う環境整備

キャリア教育・職業教育、課題解決型学習

豊かな心・健やかな体の育成、安全・安心

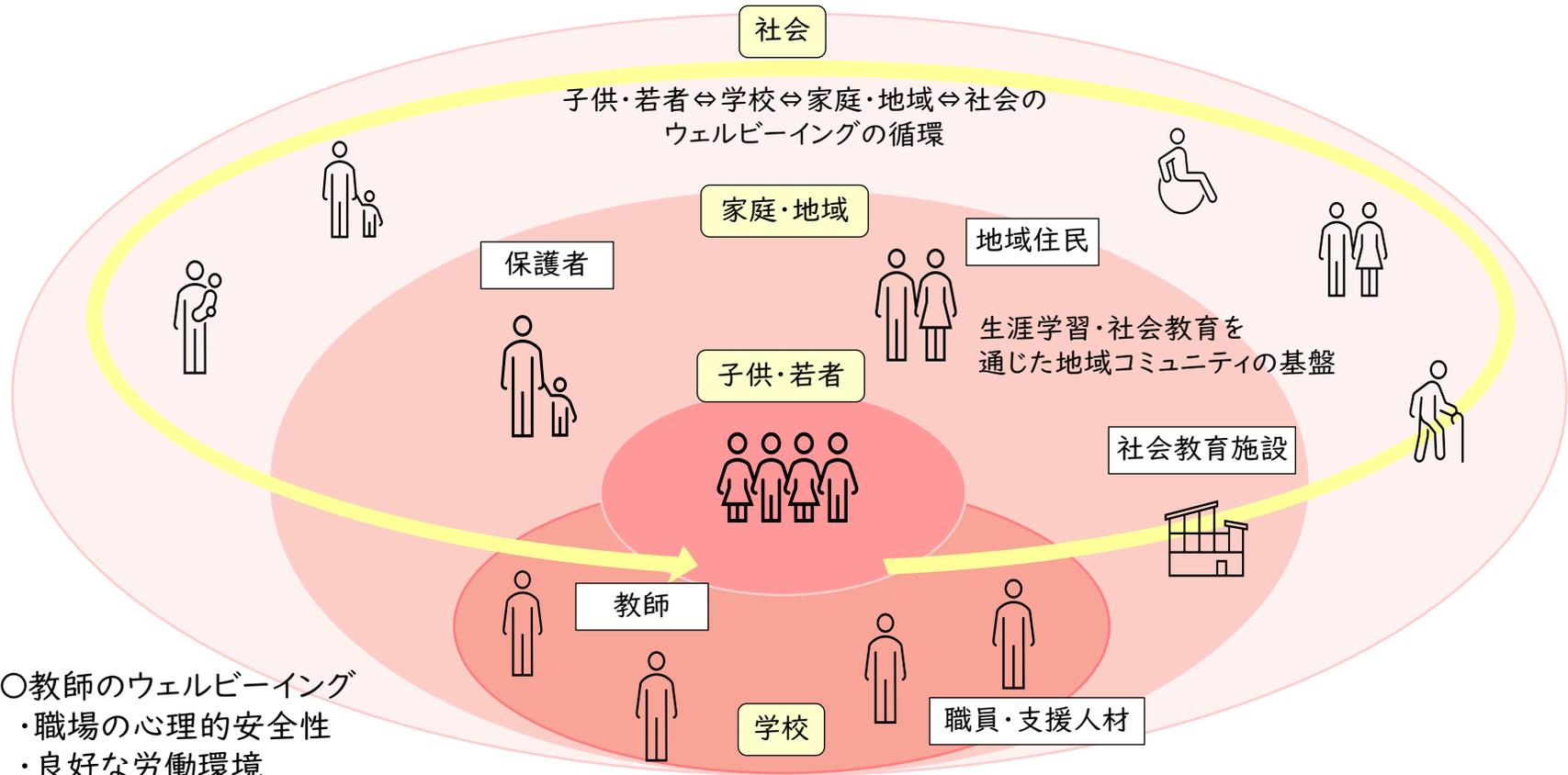
グローバル社会における国際交流活動

### ● 子供たちの主観的なウェルビーイングに関連する項目

- 自分にはよいところがあると思う
- 将来の夢や目標を持っている
- 授業の内容がよく分かる
- 勉強は好きと思う
- 普段の生活の中で、幸せな気持ちになる
- 友人関係に満足している
- 自分と違う意見について考えるのは楽しい
- 人が困っているときは進んで助けている
- 学級をよくするために互いの意見の良さを生かして解決方法を決める
- 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う
- 先生は自分のいいところを認めてくれる
- 困りごとや不安がある時に先生や学校にいる大人にいつでも相談できる

## 教師のウェルビーイング、学校・地域・社会のウェルビーイング

- 子供たちのウェルビーイングを高めるためには、教師をはじめとする学校全体のウェルビーイングを確保することが必要。また、子供たち一人一人のウェルビーイングが、家庭や地域、社会に広がっていき、その広がりが多様な個人を支え、将来にわたって世代を超えて循環していくという姿の実現が求められる。



- 教師のウェルビーイング
  - ・職場の心理的安全性
  - ・良好な労働環境
  - ・保護者や地域との信頼関係
  - ・子供の成長実感

## 特別支援教育に関する調査項目から

### <特別支援学級の教育課程編成等に関する状況>

- 個々の児童（生徒）の実態に応じて、自立活動の指導目標・指導内容を設定できていると思いますか
- 個々の児童（生徒）の実態に応じて、自立活動の指導方法を工夫し、児童（生徒）の意欲的な活動を促すことができていると思いますか
- 校長として、よりよい学校運営を行うために、特別支援学級の担任教員が学級の問題を抱えている場合、ともに問題解決に当たることを行っていますか
- 貴校は、特別支援学級の児童（生徒）の指導に当たり担当教員が困っているとき、他の教職員と相談できる雰囲気がありますか
- 特別支援学級の担任教員は、特別支援教育に関する授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか
- 特別支援学級に在籍する児童（生徒）に、暴力行為、いじめ、不登校等の生徒指導上の諸課題が生じている場合、特別支援教育担当と生徒指導担当が連携して、解決に当たったり必要な支援策を講じたりしていますか

### <通級による指導 意識調査>

- 通級による指導を受ける児童（生徒）について、個々の児童（生徒）の実態に応じて、指導目標・指導内容を設定できていると思いますか
- 通級による指導を受ける児童（生徒）について、個々の児童（生徒）の実態に応じて、指導方法を工夫し、意欲的な活動を促すことができていると思いますか
- 通級による指導を受ける児童（生徒）について、貴校の他の教職員と相談したり、共に問題解決に当たったりできる体制になっていますか
- 担当教員は、特別支援教育に関する授業研究や事例研究等を行っていますか
- 児童（生徒）の在籍学級の担任等は、通級による指導における教材や教具の工夫について情報を得ていますか
- 通級を受けている児童（生徒）に、暴力行為、いじめ、不登校等の生徒指導上の諸課題が生じている場合、特別支援教育担当と生徒指導担当が連携して、解決に当たったり必要な支援策を講じたりしていますか

# 人材育成に向けて ～誰一人取り残さないために～

## ○障害の「社会モデル」の考え方の理解

障害の「社会モデル」とは

障害のある人が日常生活または社会生活で受ける様々な制限は、障害のある人の心身機能の障害のみが原因なのではなく、社会的障壁との相互作用によって生じるものであるという考え方

## ○障害の「社会モデル」の考えの元、

全ての教師が、環境整備の重要性を認識

## ○児童生徒理解と信頼関係づくり

- ・よいところや強み、好きなことや興味・関心のあることを多く見つける
- ・気になる言動の要因や背景について考えることを習慣化する
- ・落ち着いて学ぶことのできる教室環境を整える
- ・「分かった」「できた」と実感できる授業づくりを追究する
- ・違いや多様性について理解する